

令和 7 年度 自己評価表

郡山学院高等専修学校

1 教育目標

- (1)社会性を養成し、職業人としての意識をもつ生徒を育成する。
- (2)資格取得を通じて、目標に向かって努力できる生徒を育成する。
- (3)社会のルールを守り、他者に対しておもいやりをもち、協調性のある生徒を育成する。

2 基本方針

- (1)基本的な生活習慣を身につけさせる。
- (2)基礎学力を身につけさせる。
- (3)資格取得の意識を高め、職業意識を高揚し向上心をもたせる。

3 今年度の重点目標

- (1)退学者の減少
- (2)入学定員 60 名の充足
- (3)資格取得率の向上

4 評価項目の達成、取組状況

(1) 教育理念・目標

評 価 項 目	評 価
学校の理念・育成人材像は定められているか。	4・3・2・1
学校における職業教育の特色は理解されているか。	4・3・2・1
社会経済のニーズを踏まえた将来構想を抱いているか。	4・3・2・1

(評価 4…適切 3…ほぼ適切 2…やや不適切 1…不適切)

ア 課 題 特 に ない。

イ 改善方策 特 に ない。

(2) 学校運営

評 価 項 目	評 価
運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	4・3・2・1
運営組織や意思決定機関は、規則等で明確化されているか。	4・3・2・1
人事・給与に関する規定等は整備されているか。	4・3・2・1
地域社会や企業との信頼関係が醸成されているか。	4・3・2・1
情報システム化等業務の効率化が図られているか。	4・3・2・1
教育活動に関する情報公開が適切になされているか。	4・3・2・1

ア 課 題 特 に ない。

イ 現 状 ・全校生がクラスごと近隣のゴミ拾いと愛宕神社の落ち葉拾いを行った。

・生徒用パソコンの入れ替えを行った。

・ホームページに行事等の画像を掲載した。

(3)教育活動

評 価 項 目	評 価
教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	4・3・2・1
育成人材像を踏まえた修業年限に対応した時間は確保されているか。	4・3・2・1
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	4・3・2・1
資格取得に関する指導体制、カリキュラムの体系的な位置づけは明確か。	4・3・2・1
人材育成目標の達成に向けた授業を行う教員は確保されているか。	4・3・2・1
教職員の能力開発のための研修が行われているか。	4・3・2・1

ア 課 題 特にない。

イ 改善方策 特にない。

(4) 学習成果

評 価 項 目	評 価
就職率の向上が図られているか。	4・3・2・1
資格取得率の向上が図られているか。	4・3・2・1
退学率の低減が図られているか。	4・3・2・1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	4・3・2・1

ア 課 題

・退学者2名(1年生1名、3年生1名)

退学の理由は1年生が適応障害、3年生は病気による欠席のためであった。

イ 改善方策

・退学者を出さないために生徒・保護者面談を充実させる。

(5) 生徒支援

評 価 項 目	評 価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4・3・2・1
生徒相談に関する体制は整備されているか。	4・3・2・1
生徒に対する経済的支援体制は整備されているか。	4・3・2・1
上級学校との連携による職業教育の取り組みが行われているか。	4・3・2・1
保護者と適切に連携しているか。	4・3・2・1
卒業生への支援体制はあるか。	4・3・2・1

ア 課 題 特にない。

イ 現 状 ・生徒相談窓口を設置して資料を作成し教室に掲示した。
・2年生がケイセンで授業体験を行った。
・前年度卒業生の就職企業に対して追跡調査を行った。

(6) 教育環境

評 価 項 目	評 価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	4・3・2・1
防災に対する体制は整備されているか。	4・3・2・1

ア 課 題 特にない。

イ 改善方策 特にない。

(7) 生徒の受入れ募集

評 価 項 目	評 価
生徒募集は適切に行われているか。	4・3・2・1
生徒募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	4・3・2・1
学納金は妥当なものとなっているか。	4・3・2・1

ア 課 題 特 に ない。

イ 改善方策 特 に ない。

(8) 財務状況

評 価 項 目	評 価
中長期的に学校の財務状況は安定しているか。	4・3・2・1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4・3・2・1
財務について会計監査が適切に行われているか。	4・3・2・1
財務情報公開の体制整備はできているか。	4・3・2・1

ア 課 題 財務の情報公開は行っていない。

イ 改善方策 郡山学院高等専修学校の財務の情報公開について検討する。

(9) 法令等の遵守

評 価 項 目	評 価
法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4・3・2・1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	4・3・2・1
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	4・3・2・1
自己評価結果を公開しているか。	4・3・2・1

ア 課 題 特にない。

イ 現 状 ホームページの「学校の特色」の項目に、自己評価と学校関係者評価委員会からの意見を掲載した。

(10) 社会貢献・地域貢献

評 価 項 目	評 価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	4・3・2・1
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか。	4・3・2・1

ア 課 題 ボランティア活動の奨励。

イ 現 状 ・全校生徒が近隣の清掃と愛宕神社の落ち葉拾いを行った。

・6月に生徒会が「スポーツゴミ拾い郡山」に参加した。

・7月(56人)と12月(52人)に献血協力を行った。

・1月に「第九の会」のボランティアを行った。

・10月に「マイクアローン」のフリーライブを行った。(ファンの方50名も無料で招待)

5 総合評価

①入学定員充足について

令和7年度は12月の第1回人物推薦入試で、入学定員60名を13名上回る73名の出願があった。

②資格取得について

1、3年生は前年度よりも資格取得数を増加させることができた。

(令和7年度各学年の平均資格取得数)

1年生 3.2種目資格取得 のべ 4.4回合格 (昨年 取得 3.8 のべ 5.4)

2年生 6.9種目資格取得 のべ 9.6回合格 (昨年 取得5.6 のべ8.8)

3年生 6.7種目資格取得 のべ10.7回合格(昨年 取得7.1 のべ11.1)

③進路先決定について

進路先決定率100%を達成することができた。

進学決定率 100%(33名中 33名合格)

4大1名・専門学校 32名

就職決定率 100%(15名中 15名内定)※ハローワーク高校新卒正社員求人

就労支援 1名 縁故就職1名 その他2名 合計52名

④欠席日数について

1年生 中学校での欠席 1人平均 73.1 日 → 本校での1年間で1人平均 3.5 日

2年生 中学校での欠席 1人平均 94.3 日 → 本校での2年間で1人平均 8.6 日

3年生 中学校での欠席 1人平均 48.5 日 → 本校での3年間で1人平均 11.5 日

⑤その他

- ・資格取得数については、特別支援学級に在籍した生徒・障害のある生徒の入学が増えたため1年生の取得数が減少した。2年生は赤十字救急法基礎講習の受講により取得数が増加した。
- ・令和7年度は、郡山市総合体育館で生徒会主催の「運動会」を行い、楽しい思い出を作ることができた。
- ・障害のある生徒のための進路講演会を行った。(障害者合同面接会・A型事業所・B型事業所・就労移行支援施設等について)

⑥資料 不登校を経験した生徒について 令和7年度 ※不登校(1年間で30日以上欠席)

- 1 不登校を経験した生徒(入学時に調査書に記載された1年間に30日以上欠席のある生徒数) 48名 (計167名中の28.7%)
- 2 郡山市総合教育支援センター・適応指導教室に通っていた生徒 8名
- 3 フリースクールに通っていた生徒 2名
- 4 中学校の別室登校をしていた生徒 10名

(障害のある生徒について)令和7年度

○ 視覚障害	1名	
○ 聴覚・言語障害	4名	
○ 肢体不自由	1名	
○ 病弱・虚弱	5名	
○ 発達障害(診断書有り)	48名	
○ 精神障害(知的障害・てんかん)	10名	
○ その他の障害(色覚異常・片目の失明)	3名	
○ 発達障害が疑われる生徒	23名	
合 計	95名	(全校生徒167名の57%)
※特別支援学校に在籍した生徒	1名	
※特別支援学級に在籍した生徒	41名	